



田尻町議会だより

たじりの風

8438

Vol.99

平成26(2014)年
5月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000

ご入園 おめでとうございます



主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 6 頁
- ★ 意見書 9 頁
- ★ 行政視察報告 9 頁
- ★ この人にインタビュー 10 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 子どもの登下校時の安全対策は
- 仁部 順行 議員 1. 中学生の海外研修実施を
- 坂口 実 議員 1. 財政運営の現状を問う
- 東 小夜子 議員 1. 不育症・不妊症について
2. 障がい者へのやさしい取り組みとして
- 吉開 育子 議員 1. 第5期介護保険事業計画の進捗状況と、第6期計画の策定について
2. 桜の木を切らずに歩道の修繕を
- 小川 雄司 議員 1. 原町長の選挙公約について
2. 国民健康保険事業の運営について
- 中川 達夫 議員 1. ふれ愛センター厨房室の活用を問う
2. 消防団の生命を守るため行政の取り組みは

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

問 子どもの登下校時の安全対策は

答 学校・家庭・地域で協働して見守る

問 最近テレビや新聞等の報道で小中学校生が登下校時に事故や事件に巻き込まれるケースが多い。見守り隊の方々は、交通量の多いところでは気を配ってくれているが、路地で1人になったときの対策は学校でも指導しているだろうが、町としてはどう考えているのか。

答 **指導課長** 平成18年度よりスクールガードリーダーを配置し、不審者が出没しやすいと思われる場所を重点的に見守っていただいている。行政では3時には地域で子供を見守ろうと町内放送を流している。学校では、小中学校で登下校時の安全指導として教師引率のもと学年及び全校一斉下校を実施している。地域

では現在292件の家庭・事業所に子ども110番の旗を掲げていただき、学校・家庭・地域を「たじり t r y ・あんぐる」として、これからも協働していく。





仁部 順行 議員

問 中学生の海外研修実施を

答 前向きに検討する

問 田尻町の将来を担う人材育成のため生涯学習の一環として、中学生たちを海外に派遣して国際的な視野を持ち、海外交流することによって人間性の向上や将来への希望等、あらゆる可能性が見出せる。また海外から日本を見つめ直したとき、日本のトイレの清潔さや数秒も狂わない高速鉄道など、改めて日本の素晴らしさを再確認することもできる。旅行会社の企画では体験できないようなホームステイや人々とのふれあい等、いろいろな知識が身につくと考える。世界に羽ばたく田尻町の名のもと、早急に実施して頂きたい。

答 国際交流の一環として中学生を海外へ派遣し、異文化に触れる機会を得ることは国際的視野を持った人

材育成に役立つと思われます。また、ひと昔前と比べて社会情勢や環境の変化など若者の視野は日本国内にとどまらず、海外へ向いてきているのも事実である。その反面、安全性やサポート体制など不安な面もあることも事実である。これらのことを総合的に考え、海外研修を実施している他市の状況を参考にしながら前向きに検討する。



坂口 実 議員

問 財政運営の現状を問う

答 健全な財政運営をする

問 本町は収入が支出を7億円上回り黒字となり、不交付団体とされる財政運営である。納税義務者である住民にとってメリット・デメリットを、わかりやすい言葉で答弁願う。

答 **総務課長** 普通地方交付税は、地方公共団体の財政力格差を調整する措置である。計算方法は、地方公共団体の規模などに応じて、教育・道路整備・福祉関係の標準的な行政サービスを提供するために必要となる経費を標準財政需要額として見積もり、税金等に100分の75を乗じた額に地方譲与税等の額を超えたものを、基準財政収入額として算定する。基準財政収入額は、出に対しての入り不足する額を国より交付され

る。この制度が団体、あるいはお金のない団体の住民の皆様が受けるサービスが異なるということを防ぐための制度である。

問 私は現在監査委員であり、報告として本年1月31日現在の保有金は15億あり、加えて基金全体が46億。うち財政調整基金が37億ある。現在の起債償還金も交付税計算の中に含まれ、平成29年には、総合福祉センター事業の償還を終える。需要額と収入額の差が広がることとなる。住民は国にも税金を納め、町にも税金を納めている。お金があれば還元すべきである。財政運営上の中長期計画があれば公表すべきである。

答 **総務課長** 町債残高は約17億あり、交付税計算に算入される償還金にも対象と対象外があり、即答できない。今後施設の維持管理等に発生するであろうという経費は、20年後の試算はしている。



東 小夜子 議員

問 不妊症、不育症治療に
公費助成を

答 平成27年度から実施する

問 子どもに恵まれない夫婦はおよそ10組に1組あるといわれており、不妊治療を受ける夫婦は年々増加している。不妊治療のうち体外受精および顕微受精には保険摘要がされず、30万から50万円かかるといわれている。大阪府不妊治療助成金は1回15万円、通算5年で10回を超えない範囲で支給されている。田尻町でも、その差額に助成するべきではないか。また、妊娠はするけれども、流産・死産を繰り返す不育症患者は140万人いて、毎年3万人が発症されている。治療の一部に保険適用がされているが、全てに適用されていない。田尻町でも治療助成するべきではないか。

答 **町長** 不妊症、不育症は女性町長として心を痛めている。27年度には予算にのせる。

問 視覚障がい者誘導ブロックを
灰色から黄色に

答 舗装修繕する箇所には
黄色を設置する

問 田尻町が高齢者や障がい者の方が不自由を感じることなく生活しやすい町、誰にでも優しい町になるように積極的に取り組むべきだと考える。バリアフリー新法から7年が経過し、環境整備が本来誰に対して必要なのか、今一度振り返るべきだと考える。視覚障がい者誘導ブロックは黄色が多いが本町では景観への配慮から灰色も多い。しかし他市町では弱視の方がブロックの位置を見つけやすいように黄色への敷き替えが進んでいる。田尻町も順次灰色から黄色に変えるべきでは。

答 **都市政策課長** 全面的に舗装を修繕する箇所に関しては積極的に黄色を設置していきます。



吉開 育子 議員

問 保険料値上げにならないよう
介護予防対策を

答 値上がりにつながらないよう
取り組む

問 今年は第5期介護保険事業計画の最終年度で第6期介護保険事業計画の策定年度にあたる。田尻町も高齢化が進むなか、次の計画策定にあたっては現在の取り組みの評価なしには最良の計画に進まない。また、要介護人数が増えるほど介護保険料が値上がりになる。これ以上負担を増やさないためにも介護予防対策が必要である。

答 **福祉課長** 昨年度から各地区の集会所に出前講座に出たり、健康体操、あらたに認知症対策にタブレットで脳の活性化に取り組んできており、今後も続ける。

町長 第6期計画策定にあたり今年は大事な年であると認識している。介護保険料の値上げにつなげたくないと思っており、しっかり取り組みをやっていきたい。

問 桜を切らずに歩道の修繕を

答 全部撤去してきれいな道にする

問 ふれ愛センター北側の歩道のデコボコは、共産党議員団が現地を見ていただいた造園業者によると「地面を押し上げている桜の根だけを切って処理をして、歩道を修繕すればよい。それで桜は枯れない。」という見立てである。この方法が、「デコボコは直して欲しいが、桜を切るのは寂しい」という町民の感情にそい、桜を切ることなく歩道も修繕できる最良の方策である。

答 **町長** それは一時しのぎである。全部撤去してきれいな道にする。



小川 雄司 議員

問 保育定数120%以上を続けるのか

答 条例定数の改正を検討したい

問 泉佐野市内の1つの民間保育園が、2年連続で保育定数を120%上回ったとして、府検査の指南を受け、2014年度から田尻町からの広域入所の受入をストップする事態がおきている。田尻町立保育所も長年、保育定数120%オーバーを続けているが、府検査の指導はないのか。

答 2013年12月に府検査があり、120%オーバーの是正について計画書を提出している。保育面積などはすべて基準を満たしているが、定数100名にたいして130名の入所であり、条例定数の改定を検討したい。

問 国保料滞納者への一方的な差押えはしてはならない

答 悪質な滞納者へは滞納処分をおこなう

問 鳥取県での児童手当差押え事件において、2013年11月に高裁は、児童手当など差し押さえ禁止債権は預金口座に振り込まれた後も差し押さえてはならない、との判決をくださった。法令で定められた差し押さえ禁止財産、禁止額を遵守していただきたい。

答 悪質な滞納者には差押えなどの滞納処分を行いなから、無財産や生活保護適用程度の状態にあるものについては、速やかに滞納処分の停止を行っていきたい。



中川 達夫 議員

問 ふれ愛センター厨房室の活用を問う

答 現在は考えていない

問 ふれ愛センターの厨房室が10年ほど利用していないため無駄になっており、何か活用していただきたい。同センターには、高齢者の方々もたくさんお見えになり、児童書の本とか置いてふれあうことは、核家族の現在では子どもたちにとって大切だと思う。

今後、活用の予定はあるのか。町長の見解を問う。

答 **町長** 今現在ふれ愛センターにはキッズルームであるとか、広さは十分確保できている。厨房室は倉庫として活用し、必要な時は、その形態を考えていく。

問 消防団員の生命を守るための行政での取り組みは

答 法律に基づき進めている

問 東北の震災では団員254人の尊い命が失われた。消防庁は2012年に団員の命を守るため避難行動を最優先すべきとのことで、団員の安全マニュアルをつくっており、本町では進んでいるか。

答 **危機管理対策PT課長** 現在、昨年9月に職員向け災害時業務マニュアルを策定しており、津波警報が発令された場合、本庁への津波到達予想時間の30分前には、持ち場を離れて避難するよう定めた。消防団についても策定を検討する。

問 団員の数は全国で減少しているが、団員確保のため地域防災充実強化法により国や自治体の責任と定めたことにより、本町での取り組みは。

答 **危機管理対策PT課長** 昨年12月に消防団を核とした地域防災充実強化法が公布施行され町としても消防団と連携協力し、団員確保も含めた消防団の充実強化策を積極的に検討する。

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 伊藤 幸男

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月7日開催)

◎田尻町附属機関条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 健康たじり保健計画委員会委員の人選と開催頻度はどうか。

答 確定ではないが、10人の委員で、年に2回開催予定である。

◎田尻町企業誘致促進条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 企業が張り付き、奨励金を出すのはいいが、町にどのようにプラスになっているのか。

答 この条例は、固定資産税の2分の1を5年間に亘り交付するもので、現状ある6社の5年間の予測として、1億3千8百万円ほどの交付金を支払うが、倍の2億7千8百万円ほどの税収がある。また、雇用については、現在稼働している5社で従業員が287人従事しており、内田尻町在住者が41人となっている。

◎平成25年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件

(6億1,554万7千円の増額) 【全会一致で可決】

問 歳入の国庫補助金の「地域の元気臨時交付金」及び「津波対策推進事業費補助金」の用途は何か。

答 「地域の元気臨時交付金」については、緊急経済対策ということでの国の補正予算に基づくものであり、今年度実施した葬祭場のエレベーターに充てている。

「津波対策推進事業費補助金」については、今年度作成中である津波ハザードマップの費用に充てている。

◎平成25年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の件

(208万3千円の減額) 【全会一致で可決】

問 中央ポンプ場が故障したとのことだが、何故か。

答 ゴミをかき揚げる除塵設備が、設置後21年経過している。泉佐野市は、修繕工事等で対処療法的に機能保全に努めてきたが、平成25年8月に稼働しなくなったため、平成26年度の雨季までには修繕したい。

◎平成25年度田尻町水道事業会計補正予算(第3号)の件

(1,146万1千円の減額) 【全会一致で可決】

・主に水道事業費用の減額補正である。

文教厚生常任委員会

委員長 大門 久恭

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月10日開催)

◎田尻町国民健康保険条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 近年の経済不況で所得が減っている方も増えていると思うが、軽減対象世帯が前年度に比べて増えているのか。

答 軽減を受けている方は、昨年度に比べると、2割軽減が213人から167人、5割軽減が77人から62人、7割軽減も515人から405人と、今年度は減っている。

◎田尻町社会教育委員条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 委員委嘱で、「社会教育関係者」と「家庭教育の向上に資する活動を行う者」とは、どういう方か。

答 「家庭教育の向上に資する活動を行う者」とは、PTA、子育てサークル、またNPO関係の方で、家庭支援に取り組んでいる方々を想定している。「社会教育関係者」は青少年指導員とか公民館の文化芸術関係者とか社会体育関係者を考えている。

要望 教育委員会よりも強い権限を持つとも言われている社会教育委員の資質の向上が求められる。委員の改選では、継続して社会教育を進めている方や家庭教育の向上に一生懸命取り組んでいる方を選考するよう望む。

◎田尻町青少年問題協議会条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 青少年問題協議会は、すごく重要で、地域の青少年事業の中枢を担っているが、本町では影が薄い。その点の認識と考え方を聞きたい。

答 全国的には、小・中学生のスマートフォンやいじめの問題が騒がれており、田尻町の活動においてもそれらの問題を取り入れてもらえればと考えている。

◎平成25年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件

(6億1,554万7千円の増額) 【全会一致で可決】

問 たばこ税について、最終的に府に交付する額と町が使える額はどのくらいあるのか。

答 現在7億5千万ほどの収入を見込んでいるが、課税定額という一定の上限があり、昨年度では、1億3千9百万円が田尻町にもらえる実質の額であった。今回も差額が翌年度に府の方へ交付されることになる。

問 幼稚園の嘱託員報酬の減はどういうことか。

答 クラス編成上で、1名のクラス担任が必要無くなったための減であり、子どもの数に対して先生数は足りている。また、早朝の職員は足りているが、延長が2名足りない状況となっており、代わりに、産休代替の先生に入ってもらおう等でシフトを組んで対応している。

◎平成25年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)の件

(210万2千円の減額) 【全会一致で可決】

問 今年度の特定健診の人数や受診率は上がったのか。

答 平成24年度では対象者1,309人に対し371人で受診率は28.3%である。

◎平成25年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第3

号) の件

(52万円の増額) 【全会一致で可決】

・主に介護保険システムを改修するための増額補正である。

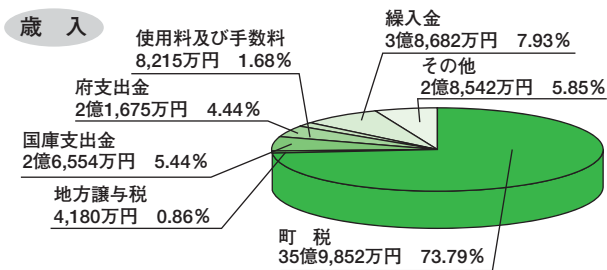
予算特別委員会

委員長 伊藤 幸男

予算特別委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月12・13日開催)

◎平成26年度田尻町一般会計予算の件

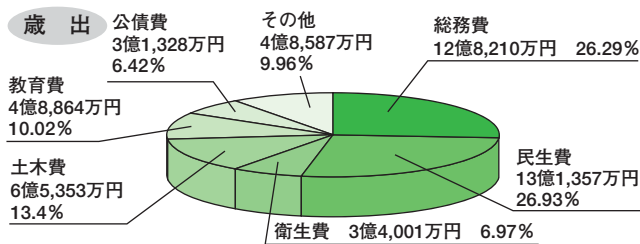
・48億7,700万円 【賛成7、反対2で可決】



歳入

問 平成26年度の空港関連分の固定資産税はどれほど見込んでいるのか。

答 当初予算分としては24億8,300万を見込んでいる。今年度はLCC等第2期島の土地利用が高まってきたことにより、対前年度と比べて1億2,600万ほどの増額となっている。



総務費

問 本庁舎エレベーター問題の進捗状況はどうなっているのか。

答 現庁舎にエレベーターを設置する方向で現在調整している。26年度当初予算には間に合っていないが、できれば来年くらいには工事にかかりたい。

民生費

問 平成26年度より実施するファミリーサポートセンター事業の今後の計画を聞きたい。

答 初年度は安全第一と考え、基本的には受けていただく家で預かるということでスタートするが、今後はTDFや学校開放にも預かる方がそこへ連れて行って一緒に遊んでいただけるということも視野に入れて検討していきたい。

衛生費

問 今回スマートウエルネスシティに関連する旅費があるが、同じように参加している自治体の首長の集まりで、どういうふうこれからやっていくのか。

答 スマートウエルネスシティの首長研究会には、大阪

府下で高石、阪南、河内長野、の3市が既に参加しており、全国的にも42市町が参加している。この研究会では、お年寄りでもトレーニングや体操をすれば、体力年齢が若返るというデータがあることから、歩いたり体を動かすことで、生活習慣病を予防するなど高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を目指している。そのため、研究会に加入している自治体は、健康づくり(歩く、体を動かす)とまちづくり(歩きたくなる)を連動させた施策に取り組んでおり、例えば、高石市では、せせらぎのある歩道を造ったり、また他市でも商店街を歩行者天国にするなど、様々な事業を展開している。今回は、この研究会で全国の事例などを勉強するため、参加するものである。

農林水産業費

問 若者が今、農業の仕事をしたいというニーズがあり、その中で国の補助事業として3カ月ぐらい、給料を補填して体験してもらおうという事業があったと思うが、そのバックアップ体制や、今まで農業関係者や漁業関係者にアプローチをしたということはあるのか。

答 新規参入に関しては国の方というか、大阪府の方が、準農家制度といい、家庭菜園のちょっと上のレベルの方を育てようといった仕組みがある。それと、そういう農業者を育てるような体験、そういう塾的なものもある。ただ、本町の場合は、なかなかそれが根づかないのは、そういった核となる主導者の資質のある方はおられるが、名乗り出ないので、後継者を育てるといのは難しいという状況になっている。

漁業者の方については、漁業組合で一定のそういう組合員になっていただくためのステップがある。まず乗り子から始まって準組合員、それで正組合員。その間には、やはり生活資金的なものもあり、一本立ちするには、資本も要ってくるので、農業以上に漁業の方が難しいと考えている。

商工費

問 施政方針で、「地域就労支援事業については相談事業を実地するとともに、就労支援事業の内容充実を図る。また、町内事業者に対して町内雇用の拡大を要請するなどして、就労に向けた効果的な事業展開を図る」とあるが、町民の雇用率を上げるため、就労支援講座につなげるとか、そういうようなことを何か考えているのか。

答 町内雇用については、例えば、企業誘致の奨励金なんかをお渡しするときには、できるだけ田尻の方を採用してくださいというお願いは一応させていただいている。

また、就労支援講座については、やはり就職を希望されている方のスキルをアップし、付加価値をつけて採用していただくというのを目指してやっており、来年度についても、他市町村ではないぐらい充実させていくように考えている。

土木費

問 桜の木は何故切るのか。

答 何とか桜を残せないかといういろいろ調べたが、幾ら応急処置をしても、これからもずっと応急処置をしていく必要があり、実際これまで過去数回の根切り等の改修によって再整備を試みたが、実態は何の解決にも至らな

かったことが実証されている。また、根切りを繰り返すことによる、倒木の危険性が高いなど、道路利用者などの安全性を優先すると、伐採はやむを得ない。

消防費

問 LEDソーラーライトの設置については、駅上広場のどこにつけるのか。

答 このLEDライトについては、新家田尻線の道路敷で駅上グラウンドに入るところに門扉があるが、その部分につける予定となっている。

教育費

問 防犯カメラの設置については、具体的にはどこに何個ずつつけるのか。

答 防犯カメラについては、現時点で小中学校の門や入口付近に設置しているが、今回増設することを考えている。小学校の方は4台増設し、トータル6カ所にしようという計画である。箇所については、基本的には今、周囲にフェンスがあるので、そこから侵入してくる者の形跡をとろうということである。例えば道路からフェンスを越えて入ってくる箇所とかを現地で調査して、その箇所について増設しようと考えている。

中学校の方は、現在、正門、給食場の横のところ既に1カ所ずつと幼稚園側の道路の門にも1カ所つけているが、あと5台増設して、トータル8カ所つける予定である。設置箇所は、例えば中学校側の駐車場から道路側に向ける、あるいは先ほどの道路側の方からのフェンス側の死角についても増設し、また、体育館の周囲についても増設を考えている。

カメラの機能については、現行、町内でつけている防犯カメラと同様にメモリーに録画ができるものを考えている。

また、幼稚園、保育所でも新規で6台の設置を予定している。

反対討論 幼稚園3歳児保育の復活や、4年生の夏休みの学童保育を実施するため、仮設施設の建設は必要不可欠である。町営住宅については、政策空き家と称して町営住宅への入居の願いに背を向けている。そして、嘉祥寺りんくうポート北線の歩道のデコポコ、解消策に踏み出したのは評価するが、問題のない桜の木もすべて伐採をするのは極めて残念である。町長には、女性の働きやすい環境づくり、待機児解消、幼稚園3歳児の復活など、自らの公約に真摯に取り組まれることを求め反対する。

賛成討論 予算編成にあたり、町長は自分なりの新たな政策をいろいろと取り入れられている。また、キッズルームコスモスの設置や私立の幼稚園の援助策等もできている。この予算編成に関しては、本当にキメ細やかな政策を取り入れられていると考え賛成する。

◎平成26年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算の件

・9億6,300万7千円 【全会一致で可決】

問 本町の国保料金は府内では今どのくらいの高さか。

答 平成24年度では田尻町1世帯当たりの保険料調定額は、府内43市町村中41位であり、府内で3番目に低い保険料となっている。

◎平成26年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件
・9,799万7千円 【賛成7、反対2で可決】

問 後期高齢者医療制度の保険料軽減の対象の拡大として、2割軽減が年金収入238万円以下から258万円以下に、5割軽減は、これまで2人世帯以上が対象だったが、単身世帯についても対象となり、軽減となる所得基準額が、これまで年金収入192万5,000円以下から、217万円以下と変わっている。それぞれ2割軽減、5割軽減の対象世帯、人数はどんなふうに変化するのか。

答 まず、5割軽減は25年度が21人だったのが、26年度には57人と増えるが、2割軽減は反対に89人だったのが76人と多少減ることになる。

反対討論 後期高齢者医療制度の制度設計上、75歳以上の人口と医療費が増えれば増えるほど保険料に跳ね返る仕組みが採用されており、75歳以上を区別して、保険料が年々引き上がる制度の廃止を主張する。

◎平成26年度田尻町介護保険特別会計予算の件
・6億3,523万4千円 【全会一致で可決】

問 全額基金を取り崩して運営しなければ、介護保険の会計がまわらないところにきているうえ、府の支出金を8,108万円借りるということだが、26年度の予算の傾向としてどういうことを踏まえているのか。

答 予算ベースで言うと、基金残高の1,200万円を全額取り崩して、26年度で計上しており、なおかつ26年度は介護給付費の伸びがあると見込んでいるので、今回、大阪府から一時金を借りるというように計上した。

ただ今のままの伸びでいくと、基金は今の予算上は1,200万円ほどと言ったが、実際に決算を打ったときはそれよりも介護給付費の伸びが下回れば、最終的に大阪府から借りなくなるのではと見込んでいる。

◎平成26年度田尻町下水道事業特別会計予算の件
・7億697万5千円 【全会一致で可決】

問 下水道は、完全に管理型下水道に変わったと言えるのか。古いところは、下水道管の入れ替えや工事にかかるべきではないか。今後の事業めどというのはどうなっているのか。

答 下水事業の標準耐用年数は50年である。管渠については、まだ適切な維持管理、浚渫等を行い、管理していく。ただ、吉見ポンプ場については、平成5年に供用開始して20年が経過している。電気設備については、標準耐用年数が15年となっており、現在、標準耐用年数から5年経過しているのので、更新を進めていく方向で考えている。

◎平成26年度田尻町水道事業会計予算の件
・3億5,759万9千円 【全会一致で可決】

問 今はできていないと思うが、耐震対策や今後の事業計画をつくる予定はあるのか。

答 近年、ふれ愛センター前の本管からの漏水事故等があったことを考慮して、26年度から31年度の6カ年で1億1,724万円の費用をかけて、耐震及び更新工事を予定している。

意見書

◎大阪・泉南アスベスト国家賠償請求訴訟の早期全面解決を求める意見書

全会一致で可決

趣旨

泉南アスベスト国賠訴訟の早期全面解決を求めるものである。併せて、すべてのアスベスト被害の救済とこれ以上のアスベスト被害者を発生させない万全な規制や対策の強化を求める等。

【一部抜粋】 提出者：小川 雄司 賛成者：大門 久恭
提出先：衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／厚生労働大臣／環境大臣

◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

全会一致で可決

趣旨

ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設することや身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること等。

【一部抜粋】 提出者：吉開 育子 賛成者：坂口 実
提出先：衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／厚生労働大臣

◎「空襲被害者等援護法」（仮称）の早期成立を求める意見書

全会一致で可決

趣旨

戦後処理にかかわる国内の問題としては、空襲等の被害者に対する援護だけが、いまだに取り残されているので、「空襲被害者等援護法」（仮称）が早期に成立するよう強く要望すること等。

【一部抜粋】 提出者：明貝 一平 賛成者：東 小夜子
提出先：衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／厚生労働大臣

総務建設常任委員会行政視察報告

「住民思いの政治哲学があつてこそ、財政力も生き」と確信 愛知県飛鳥村への視察報告

財政力日本一の愛知県飛鳥村を総務建設常任委員会のメンバー（伊藤委員長、小川・高木・仁部・東の各議員）で1月28日（火）に視察しました。終始同席していただいた村長は言いました。「命を大切に、働きやすい環境をつくることは、絶対に譲れない」医療費無料18歳まで、不妊治療費助成、児童養育奨励費一人あたり10万円など豊かです。他の事業は近隣の「平準化」を強調しています。村長は「ケチと言われています。」しかし、施設は立派で、すこやかセンター内には温水プールもあり、医療費が減ったといえます。住民思いの政治哲学が施策をささえ、財政

力もいきるのだと確信しました。飛鳥村長の久野時男氏は現在4期目、職員時代は教育委員会に長く務めていました。アメリカ・カリフォルニア州リオビタス市ほかへの、中学2年生を対象にした1週間の海外派遣事業（希望者を募集）は、24年目になっています。個人負担費用を除く全額が村負担です。村長は、「アメリカの良いところも悪いところも、社会の現実を研修してもらうことに意味がある」といい、参加者には事前研修を行い、誓約書も提出してもらっているといえます。

今回の視察研修を通じ、本町においても実現可能なことはないか参考にしていきたいです。

総務建設常任委員会 副委員長 小川 雄司

文教厚生常任委員会行政視察報告

日程 平成26年1月29日（水）、30日（木）
場所 福岡県大牟田市役所、佐賀県武雄市役所、武雄市図書館
内容 まちで、みんなで認知症をつつむ市民のための図書館運営
参加者 大門久恭・坂口実・明貝一平・吉開育子・中川達夫

大牟田市認知症ケアコミュニティ推進事業のなかで、他職種協働、多世代交流、地域協働を生み出そうという事で、取り組んでいる。

大牟田市は、高齢化率31.6%（2013年10月）全世帯数57,473戸高齢者のいる世帯28,488戸（49.6%）高齢者単身世帯数12,702戸（22.1%）2013年4月現在 認定者数・率が急上昇している。

大牟田市地域認知症ケアコミュニティ推進事業から「認知症コーディネーター養成研修」「もの忘れ予防・相談検診介護予防教室」「ほのぼの会・小中学校の絵本教室認知症サポーター養成講座」「高齢者等SOSネットワーク・徘徊模擬訓練」を実施している。

市内を21学区で区割りし平成16年から訓練を毎年実施し、平成25年には、全校区が参加、参加者数も年々増えている。

認知症はあくまで「きっかけ」で誰もが支えあう地域を目指して、他職種協働、多世代交流、地域協働のまちづくりを目指している。認知症になっても安心して暮らせるために「徘徊＝ノー」ではなく、

「安心して徘徊できる町」を目指していくことに共感を持った。

佐賀県武雄市図書館について

「市民の生活をより豊かにする」このコンセプトをもとに武雄市は図書館づくりに取り組んでいる。

進展する高齢社会の中で、豊かな生活を実現するための中核的施設として、武雄市図書館・歴史資料館をより市民価値の高い施設として運営するにあたり、「代官山蔦屋書店」コンセプト及びノウハウを導入し、企画する事で、市民の生活をより豊かにする図書館づくりを目指した。「もっと多くの方に利用していただきたい」という思いから365日・年中無休で、取り組みをしている。

提携により武雄市図書館にて実現する9つの市民価値が生まれる。2013年度の来館者数は累計で719,960人、図書貸出数は累計で432,007冊、図書館の利用登録者は32,203人、2014年12月31日時点です。

会館時間だけでなく、座席数も増えて、よりたくさんの方に楽しんでいただける空間になっています。

最後になりましたが、田尻町も徘徊高齢者等SOSネットワーク事業に関して大牟田市を参考にし、又武雄市のような人を呼びこめるような事業を検討したいと思います。

文教厚生常任委員会 委員長 大門 久恭

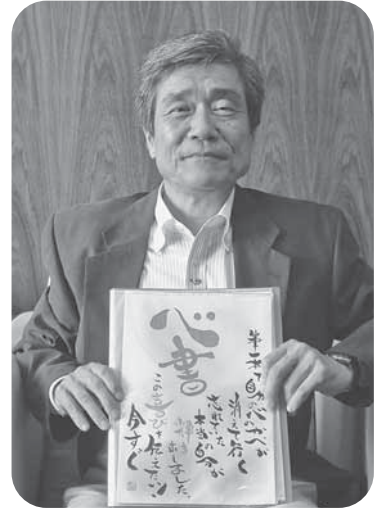
この人にインタビュー

青少年指導員会
会長 板谷 周 治さん (58)

- Q 青少年指導員会にたずさわって何年になりますか？
A 平成9年からなので、もう17年になり会長は7年目です。
- Q この間、活動はどのように進んでいますか？
A 以前は非行や犯罪を抑えるのが目的でしたが、いまでは青少年が健全に過ごすことに力を入れ、ワイワイフェスタなどで子供達と関わりを深めることに力を入れています。そうすることによって、誰かがいつも見守っているという環境をつくり出すことが、防犯につながるのではと思っています。
- Q 新しい取り組みは？
A 昨年、中学校に出向いて生徒会与懇談しました。子供たちに考えていることを直接きくことが大事だと思っています。
- Q 組織の課題は？
A わいわいフェスタ以外に青少年指導員会で、大人と子供達が関わりを深める取り組みをしたいと思っていますが、補助金が少額なので難しいです。
- Q ご自身がチャレンジしたり、趣味を楽しんだりしていますか？
A 去年から孫と一緒にピアノを習い始めました。はじめて発表会にも出て、映画「風と共に去りぬ」の「タラのテーマ」を弾きましたがとても緊張しました。また、おっちゃんばかりでつくった「おっちゃんバンド」というグループでキーボードを担当して演奏をしました。その経験から、子供たちにもみんなでや

る一体感をもつような取り組みをしたいと思います。

それから、書道の基本に関係なく自由に自分の思いを書く「心書」にはまっています。個人的に受講した研修会の中にあつたプログラムで講習を受けてから好きになりました。他の指導員にも学んでもらって、指導員から子供たちに思いを伝える楽しさを伝えるようにしたいと思います。



今年度より「お気がるミーティング」をはじめます！

この度、田尻町議会では、議会活動への町民参加や情報公開を一層進めるため、これまで行っていました議会報告会に加えて、より親しみやすく開かれた議会運営をめざし、町民の皆さま方との自由な対話の場を作りたいと思います。どうぞお気がるにお申し込みください。

◎申し込み資格 町内の各種団体・5人以上の町民グループ
◎会議内容 議会活動及び町政に関する意見・提言 その他
※開催日や開催場所（町内公共施設に限る）等については、ご希望にそって調整させていただきます。
◎問合せ先 田尻町議会事務局 TEL：072-466-5000

大阪府町村議長会より 永年勤続表彰を受賞

多年にわたり、町議会議員として自治の振興発展に対する多大な貢献が認められ、永年勤続議員として表彰されました。



吉開 育子 議員

編集後記

風薫るさわやかな季節となりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

また、平素より町議会に対し暖かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。

本号をもちまして私たちは広報委員の任期を終えます。任期中においては、議会だよりをより多くの方々に読んでいただけるよう、改善に努めてまいりました。今後とも議員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

議会だより広報 委員長 中川 達夫
副委員長 吉開 育子
委員 明貝 一平
委員 大門 久恭
委員 高木 謙治